

ひとからひとへ 手から手へ

～市民の草の根貿易の取り組みについて～

企画：立命館大学国際関係学部君島東彦教授担当科目
特殊講義平和学受講生 横内光 椎名知里 平松万寿

ワークショップを開催します！

日時：2010年12月18日(土) 10時～12時

場所：立命館大学国際平和ミュージアム内会議室

定員：先着30名

対象：大学生、大学院生

講師：小林和夫氏 株式会社オルター・トレード・ジャパン広報室チーフ

お申し込みはこちらまで！

立命館大学国際平和ミュージアム

9時30分～17時(月曜日休館)

TEL 075-465-8151 FAX 075-465-7899

「市民の草の根貿易」とは？

株式会社オルター・トレード・ジャパンの取り組む貿易。経済のグローバル化・自由貿易の拡大の続く世界の中、地域の風土に根ざした作物を作る小規模な生産者を守り育てること等を中心に、「草の根の」経済活動を通じて、誰もが自分達の暮らしや地域のあり方を作っていける仕組みの実現を目指す取り組み。

オルター・トレード・ジャパンとは？

【会社紹介】(株)オルター・トレード・ジャパン(ATJ)

フィリピン、ネグロス島での日本ネグロス・キャンペーン委員会(JCNC)による緊急支援活動を基盤にして、生活協同組合(生協)や市民団体等の出資により1989年に設立された交易会社。生協の産直を事業モデルにした農産物の民衆交易(フェアトレード)を通じて、南と北の人々が支え合う関係、「自然、いのち、暮らしを守る」地域社会をつくることをめざしている。取扱商品はバナナ、黒砂糖、エビ、コーヒー、オリーブオイル、塩など。

HP：<http://www.altertrade.co.jp/>

~当日スケジュール~

コーヒーの試飲（ATJ が扱う商品です）

ワークショップ・講義

質疑応答

私は以前に授業でフィリピンのバナナプランテーションについて学んだ際、そこで働く人々の劣悪な労働条件にショックを受けました。『フェアトレード』…言葉は聞いたことはあるけど、詳しくは知らない、そんな方は多いのではないのでしょうか。普段何気なく口にしている食べ物から世界の交易のあり方について考えてみませんか？

平松万寿

食べ物から社会を変える。日々の生活に密着した食品から、市民の生活を変えようとする ATJ さんの活動に興味を抱きました。食べ物×民衆貿易=平和の仕組みについて、参加者の方と一緒に考えたいです。

椎名知里

雑貨や洋服等、買い物に行くと非常に多くの場所でフェアトレードという言葉を目にします。値段が高すぎるのでは？そもそも「公正な」価格とは？フェアトレードを行う団体が利益を得すぎなのでは？私はこのような疑問を持ち、またそれらを解消できるような、有意義なワークショップにできたらと考えます。横内光

【講師】小林和夫

（株）オルター・トレード・ジャパン広報室チーフ。1991年より3年間、カトリック国際協力委員会よりボランティアとしてフィリピンに派遣、1995年より日本ネグロス・キャンペーン委員会に勤務（2001年より事務局長）、2007年ATJより現職。

ご不明な点等ございましたらこちらまでご連絡下さい。

国際関係学部 2 回生 平松万寿 : (e-mail) iroo21vv@ed.ritsumeai.ac.jp